

USPTO、2011年度の歳出削減策を公表

－迅速トラック(トラックI)の施行延期、サテライト・オフィス計画の延期を含む－

2011年4月22日

JETRO NY 中楨

米国特許商標庁(USPTO)のカッポス長官は本日、USPTOのウェブサイトに併設された自身のブログ¹において、11年度(～11年9月30日)の歳出削減策を公表した。

USPTO予算を含む11年度米政府予算は、オバマ大統領の署名を得て先週15日ようやく成立したところ²。政府全体で380億ドル(約3兆1,654億円³)削減する内容であり、USPTOの予算についても当初要求額である23.22億ドル(1,934億円)⁴に対して20.9億ドル(1,741億円)が承認され、約10%の削減となっていた。

同ブログにおいてカッポス長官は、「我々は安易にこの結論に達した訳ではない」とした上で以下の歳出削減策を直ちに実施するとしている。

- 三段トラック(Three-Track)プログラムにおけるトラックI(5月4日開始予定の迅速審査)⁵の施行延期
- デトロイト及び他の候補地におけるサテライト・オフィス計画の延期
- 新規及び補充のための職員採用の凍結
- IT関係プロジェクトの縮小
- 特許協力条約(PCT)関連外注予算の大幅削減
- 職員向け研修の縮小
- 超過勤務の一時停止

また、給与以外の経費削減(旅費、会議費等含む)についても指示する一方、商標関連の運営については通常どおりとしている⁶。

(了)

¹ [カッポス長官のブログ\(Director's Forum: David Kappos' Public Blog\)](#) 4月22日付記事参照

² [110415【米国IP情報】2011年度米政府予算が成立](#) (PDF) 参照

³ 1ドル=83.3円で計算

⁴ [100202【米国IP情報】11年度予算教書、USPTOは23.22億ドル要求](#) (PDF) 参照

⁵ [110406【米国IP情報】USPTO、三段トラック構想における迅速トラックの施行日を公表](#) (PDF) 参照

⁶ 米国特許法及び商標法には、特許及び商標関連予算を別々に管理する旨規定されている。